

神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490

FAX (078) 361-4539

http://nssk-kobeshoten.org/ 振替口座 01110-2-10517

今年の標語

「来てみませんか？」と誘える教会を目指そう。

努力目標

- ◎主日礼拝を大切に守ろう。
- ◎他教会の働きを知ろう。
- ◎教会ホームページの充実と活用。
- ◎地域との交流促進。

聖語 御言葉を宣べ伝えなさい。折りが良くても悪くても励みなさい。(Ⅱテモテ 4:2)

弱い時にこそ強い

～特定9の主日使徒書より～

わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ。(コリントの信徒への手紙Ⅱ 12:9)

司祭 ミカエル 小南 晃

病者の祈り

私は目的を達成するために、神に力を求めた。
しかし、私は謙遜を学ぶために、弱い者とされた。
私はさらに偉大なことをするために、神に力を求めた。
しかし、私はさらに良いことをするために、病弱を与えられた。
私は幸福になるために、富を求めた。
しかし、わたしは賢くなるために、貧しさを与えられた。
私は人々の賞賛を求めるために、権力を求めた。
しかし、私は神の必要を覚えるために、弱さを与えられた。
私は人生を楽しむすべてのものを求めた。
しかし、私はすべてのことを楽しむために、命を与えられた。
私は自分の求めたものを、何も与えられなかった。
しかし、私は望んでいたものをすべて得た。
私の祈りは、知らず知らずのうちに応えられた。
私はすべての人の内、もっとも豊かにされたのである。

肉体のとげ

上に紹介した詩は「病者の祈り」という作者不詳の詩です。「南北戦争を生きた兵士の詩」とも言われています。この詩とほぼ同じこ

とをパウロが語っています。

「それで、そのために思い上がることのないようにと、わたしの身に一つのとげが与えられました。それは、思い上がらないように、わたしを痛めつけるために、サタンから送られた使いです。この使いについて、離れ去らせてくださるように、わたしは三度主に願いました。すると主は、『わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ』と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。

(Ⅱコリント 12:7-9)

ここでパウロは自分の肉体に与えられた「とげ」について語っています。これは彼が何かの持病に大変苦しんでいたことを示しています。熱病とも、痙攣発作とも、また目の病いとも言われていますが、何の病気かは分かっていません。パウロにとって、もしそうした持病に悩まされることがなかったなら、さらに大きな働きが可能なのにと考えたことでしょう。「とげ」を去らせて欲しいというパウロの願いと祈りには、個人的な苦痛を癒しの願いだけでなく、むしろ福音宣教の為にと

いう思いがあった筈です。それに対する主の言葉は『わた

しの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ』でした。「病者の祈り」という詩においても『私はさらに偉大なことをするために、神に力を求めた。しかし、私はさらに良いことをするために、病弱を与えられた』とあるのを見る時、この詩の作者もパウロと同じ心境にあったのかと思うものです。

弱い時にこそ強い

この弱さということについて、パウロはそれが病気だけでなく、「弱さ、侮辱、窮乏、迫害、そして行き詰まりの状態」と人生における様々なハンディ、試練においてもこの「力は弱さの中でこそ十分に発揮される」という主の御言葉が同様であることを告げています。

この「力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」という主の御言葉は慰めに満ちた御言葉です。

しかしながらこの御言葉を本当に受け入れるに至る過程は恐らく多大な試練の道だった筈です。

神を信じている筈なのに、苦しみ、悲しみの日々が続く。神様は私をお見捨てになったのだろうか。

しかしその苦しみの中で尚も神を信じ続け、神に救いを求め続ける時にこそ、本当の、そしてより深い神との出会いがあること、また新たな喜びと希望と力を与えられることを聖書は常に記してきました。

「弱い時にこそ強い」という言葉はそうした時にこそ与えられる光でしょう。私たちもこの御言葉を常に心に留めて参りたいものです。

定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式
" 9時15分 教会学校
" 10時30分 聖餐式・説教
午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会
土 午前10時30分 教会掃除
(ご奉仕をお願いします)